

胃腸炎からの感染防止

冬におきる嘔吐、下痢の原因にはノロウィルスやロタウィルスがあります。嘔吐物、下痢便には多くのウィルスが含まれており、家庭内感染を引き起こす事があり対応が必要です。

症 状

- 嘔気
- 嘔吐
- 下痢
- 腹痛
- 発熱
- 頭痛

予 防

- ☆予防の基本は、手洗い（流水と石鹸で30秒）
- ☆症状が疑われたら、早めに受診・治療
- ☆嘔吐物・下痢便の適切な処理

感染経路

小さい子どもは排泄行為が自立していないため、大人の介入が必須となります。処理の際に触れた手指から口に運んだり、乾燥した便や嘔吐物が細かい粒子として空気中を漂い、それを吸い込んで感染していきます。

嘔吐物や下痢便の処理の方法

- ① 窓を開け換気をする。（ドアは閉め、他の部屋への空気の流動を避ける）
- ② 使い捨て手袋、マスクをつける。
- ③ 汚物をペーパータオル等で外側から内側に静かにふき取る。
ふき取った物はビニール袋に入れ、消毒液0.1%を入れ密封して捨てる。
- ④ 汚れた場所は、ペーパータオルで覆い消毒液0.1%を上からかけ10分間放置する。ペーパータオルを集めゴミ袋に捨てる。その後広範囲に0.1%の消毒液で拭く。
- ⑤ 下痢のオムツ等は速やかに排泄物を包み込み、使い捨て手袋・マスクとともにビニール袋に密封して捨てる。
- ⑥ 処理した後は、洗面所やトイレ等を0.1%で消毒し、30秒の手洗いとうがいをする。

※洗えない布団などは、85度以上のお湯で1分又はアイロンでの熱処理も有効

消毒液について

家庭用塩素系漂白剤として市販されているハイター・ブリーチなど消毒液0.1%の濃度が必要になります。市販されている製品によって原液の濃度が異なりますので、製品の裏を確認しましょう。